

# 自治会活動 Q&A

〈 2023.10.21 版 〉

区・町内会役員の皆様が、日々の活動のなかで対応されることの多いテーマを Q&A 形式でまとめました。この回答がすべてではありませんが、多少でも参考になればと考えています。

なお、自治会活動を進める上で市の関係部署に行く必要があるが、どこに相談すればよいか分からない場合は、まず「くらし人権課」へお問い合わせください。担当部署をご案内します。



多治見市役所くらし人権課 電話 22-1134（直通）

# 1 町内会への加入について

## Q1 未加入者へは、どのように働きかければいいですか？

町内会のことをよく知らないから加入しないということが考えられます。加入の方法や活動内容などが分からないのかもしれませんが。未加入世帯へ訪問したり加入呼びかけのチラシを配布するなど、町内会との接点を作ることが有効ではないでしょうか。また、町内会の活動や会計内容を明らかにすることも、町内会との関わりの大切さを認識してもらうために必要です。

## Q2 未加入者に町内会加入のメリットを、どのように説明すれば良いですか？

町内会は、地域住民が協力して運営することが望ましいことです。そのためには、町内会の様々な活動が日々の生活に欠かせないものであることを知ってもらう必要があります。

### 生活に密接に関わる活動例

- 住民の安全・安心につながる防犯灯の設置・管理や防犯パトロール活動。
- 自主防災組織を編成し、災害に備えて防災訓練等を実施。
- 地域の環境美化につながるごみステーションの管理や地域清掃活動。
- 住みよいまちづくりにつながる住民同士の絆づくりや話し合い。

### 町内会に入るメリット

- 活動に参加し交流することで顔見知りが増え、信頼関係を築くことができる。
- 地域の困りごとを、一人で悩むのではなく町内会に相談できる。
- 災害を始め、いざという時の助け合いができる。
- 「広報たじみ」などの行政情報のほか、回覧板でチラシなどが配布されるので、各種の生活情報や身近なイベント情報を入手できる。
- 役員を引き受けることで、地域のことや地域の人のがよくわかる。
- 町内会活動は最も身近なボランティア活動であり、地域貢献の喜びを感じられる。
- 道路・側溝・道路照明の改善や、公園・市有地の樹木の剪定・伐採・草刈りなど、環境整備の課題を町内会の総意として要望できる。

## Q3 町内会加入を呼びかけるチラシなどがありますか？

多治見市区長会で作成した加入呼びかけ用のチラシがありますのでご活用ください。

問い合わせ／くらし人権課（☎ 2 2 - 1 1 3 4）

#### Q4 未加入者に町内会加入を呼びかけるには、どのような方法で行うといいですか？

##### ① 未加入世帯の調査

- ・住宅地図などを参考に未加入世帯を確認します。
- ・アパート・マンション等は、オーナーや管理会社に働きかけて協力を得ます。

##### ② 役員の共通認識、町内会の役割の再確認

- ・加入促進活動を行う目的を役員の中で確認しておきます。
- ・町内会が地域に果たしている役割を再確認しておきます。

##### ③ 呼びかけの際の説明資料を用意

- ・加入を呼びかける文書を作成します。
- ・町内会の総会資料を用意します。  
(会則、事業報告書、収支決算書、事業計画書、収支予算書等)

##### ④ 加入の呼びかけを行う時期

- ・新規転入者は居住開始後すぐに訪問するのが効果的です。
- ・既居住者にはイベント等の開催に合わせて訪問し、まずはイベントへの参加から町内会を知ってもらうことが大切です。

##### ⑤ 訪問する人数

- ・役員1人での訪問は避け、できるだけ2人での訪問がよいでしょう。

##### ⑥ 携行品

- ・挨拶状、勧誘チラシ、加入申込書、総会資料、イベント案内等を持参するとよいでしょう。

##### ⑦ その他

- ・初めて訪問する際は資料を渡し、簡単な説明とするのがよいでしょう。
- ・1週間程度空けて、再度訪問しましょう。
- ・加入を強制するような呼びかけはせず、丁寧な対応を心がけましょう。
- ・対面での訪問に抵抗がある方もありますので、インターフォン越しやポスト投函等、状況に応じて呼びかけ方法を変えて対応いただくようお願いします。

#### Q5 町内会を脱会したいという人にはどう働きかければいいですか？

高齢化や経済的な事情などから脱会したいという世帯もあります。しかし、こうした状況の人にこそ地域の援助が必要ではないでしょうか。地域でのつながりは、生活のセーフティネットとして機能します。

未加入者や脱会したいという人には、単に町内会のメリットを説くのではなく、「お互いさま」という共助の意識を持つことで地域の安心・安全が向上していく点も強調するとよいでしょう。

##### 脱会したい人への対応

- ① 脱会したいと申し出た方の事情をていねいに聞き取る。
- ② 面談の結果を受け、町内会で対応を検討。
  - ・町内会の活動参加を免除
  - ・役員を依頼しない
  - ・町内会費の減免規定を作る、など

## 2 町内会活動について

### Q6 町内会長の役割は何ですか？

町内会長の役割は団体を代表し統括することです。しかし現実には、町内会長一人で団体を運営していくことはできませんので、役員同士が協力し地域住民と一緒に住みよいまちづくりを進めていきましょう。

### Q7 町内会長を引き受ける人がないのですがどうすればいいですか？

町内会長の選任方法や任期は各団体で異なりますが、引き受ける人がいないのは町内会長の責任や負担が大きいため、引き受けるのは難しいと感じているのかもしれません。町内会長の仕事内容を見直し、副会長等の役員の人数を増やす、前会長や前役員が必要に応じてサポートできる体制を整えるなど、町内会長の負担を少なくしているところもあります。

### Q8 若い世代に活動に参加してもらいたいのですが、良い方法がありますか？

価値観や生活スタイルの多様化により、地域活動への関心が低くなっていることもあります。また、「町内会の活動内容を知らない」ことが原因となっていることも考えられます。町内会の活動内容や重要性など、情報発信に取り組まれてみてはいかがでしょうか。

また、運営面では子育てや仕事をもつ世代のことも意識し、会議を開催する曜日や時間帯、方法（オンライン会議等）などを見直すことも効果的かもしれません。

### Q9 町内会役員だけでは運営が困難なのですが、良い方法がありますか？

役員以外にも地域の活動に関心のある方はいらっしゃいます。気軽に参加できる仕組みを考えてみてはいかがでしょうか。共働きなど、家庭や仕事が忙しい方も増えていますので、参加することが負担にならないよう、例えば、「都合がつくときに、興味のある地域のイベントづくりに参加しませんか？」というように呼びかけるのもひとつだと思います。

### Q10 町内会費に各種募金等を含めた額を集金しても良いですか？

募金等については、その金額も含め個人の任意によるものですので、強制的な徴収にならないよう注意する必要があります。

集金の負担を減らすため、例えば、募金を希望する方は町内会費と募金、希望しない方は町内会費のみという集め方にしたり、募金は持参してもらうように変更することなども考えてみてはいかがでしょうか。

**Q11 税金を払っているのだから、市が地域のことをしてくれるのではないですか？**

住民ニーズの多様化や、地域社会の環境変化により、市だけで地域の問題に対応することは難しくなってきました。そこで、町内会と行政が役割を分担しながら、地域の実態に沿った課題の解決に向けて、住民主体で取り組むことが求められています。大規模災害時に地域住民の助け合いが大きな力となることは、阪神淡路や東日本大震災でも証明されました。

住民による共助は、行政の手の届かない部分を補う意味でも非常に重要です。地域住民が自ら考え行動することで、きめ細かなまちづくりができると思います。